

日本スポーツマスターズ空手道競技

2011

菊地健治選手(普及本部長) 形・組手において二種目入賞!

中村雄二郎選手・梅津孝夫選手が10年連続出場 最優秀選手賞受賞!

■とき/平成23年9月17日~19日

■ところ/石川県加賀市



●中村和道選手 男子組手1部 入賞!
●大武政通選手 5年連続出場で優秀選手賞を受賞!

日本スポーツマスターズは、シニア世代のチャレンジ意欲を啓発し継続的なスポーツへの参加を促す大会として第11回を迎える。今大会は、石川県において13競技を実施。空手道競技は加賀市で開催され、男子が年齢別に形と組手で11部門、同じく女子は5部門で争い、各世代の日本一を目指し熱戦が繰り広げられた。結果は菊地健治選手が男子形3部にて第5位、男子組手6部においても第5位という二種目入賞を果たした。また男子組手1部では、中村和道選手が第5位入賞。そして10年連続出場の優秀選手賞に中村雄二郎選手、梅津孝夫選手の名が受賞。大武政通選手が5年連続出場で優秀選手賞を受賞した。中村雄二郎選手は大会最年長で記録を更新中である。

過去の大会では、飛鳥宗二郎会長が男子組手で準優勝。安達剛選手が男子組手で優勝。遠田めぐみ選手が女子組手で優勝している。

マスターズの魅力

菊地 健治

試合前の緊張感と相手と対峙した時の高揚感に爽快感!

私が日本マスターズに出場したのは、2001年の第1回日本マスターズ宮崎大会でした。その記念すべき大会に山形県からは、飛鳥宗二郎会長、崇武館天童支部の原田秀明氏と私の三名のみでした。

第1回大会を振り返ると、現役のころに感じた試合前の何とも云えない緊張感と、対戦相手と相対した時の昂揚感、何十年も前の自分にタイムスリップしたようで、実に爽快感に浸ったものです。ただ、他の出場者との交流、交歓が殆どなく終えてしまいい残念な思いが残りました。

次に出場したのは2004年の福島大会。この大会では全国から集まった方達と意識して交流を深めることができました。特に大阪府の選手団とは同じ宿舎だったこともあり、私たちと気が合

ったこともありました。今年、高知県にて開催。目指すは優勝! 今年、高知県にて開催。

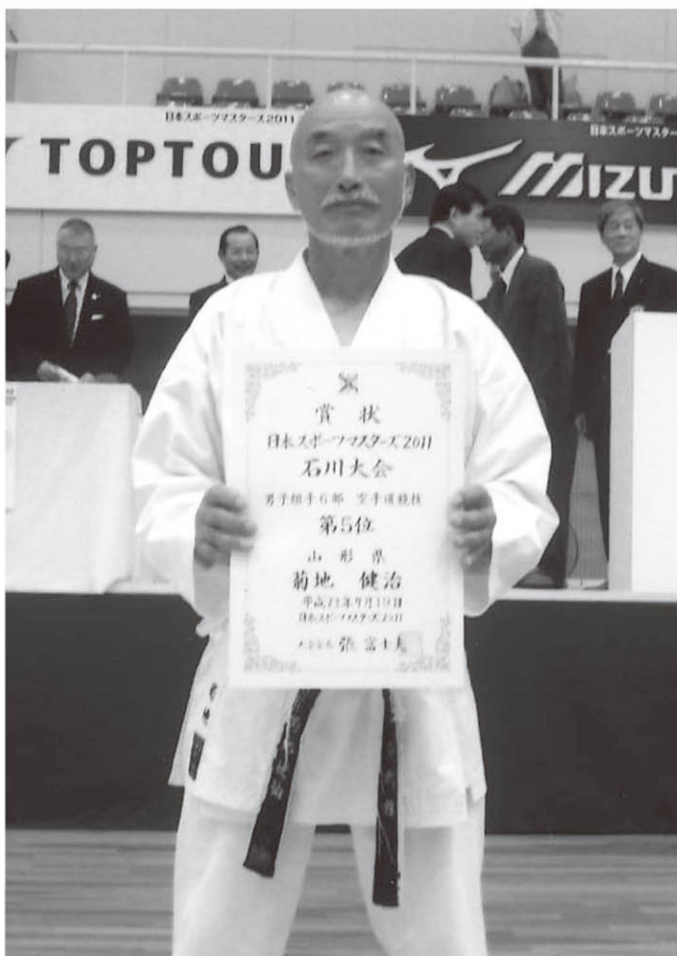


って試合では互いを応援しあつたものです。その縁で翌々年の広島大会では合同で懇親会を催し大いに友好を深めました。

その席で中村雄二郎氏が80才で大会最年長で出場されている事を話すと、大阪府の選手達は、皆、驚きと尊敬の意を表しました。マスターズ大会に出場する私と同年代の選手は、ほとんど二国一城の主で、指導の傍ら自分の稽古の時間を苦労して捻出しています。大会に向け汗を流しているのは、皆おなじで互いの境遇を共感していました。

また毎年、出場を続けると顔馴染みも増え、再会を喜び合い元気で空手に打ち込める事の幸せを思い、試合後も勝負に拘わらず、健闘を称え合い再会を約束し、又次のマスターズに向けての準備が始まるのです。

現役の頃には感じ得なかった充実感を味わえるのが日本マスターズ最大の魅力です。



2001年の第一回大会から11年。二種目入賞という大きな一歩を踏み出す。目指すは優勝! 今年、高知県にて開催。

山形県空手道連盟総会開催！

とき／平成24年2月5日(日)
ところ／山形県スポーツ会館

平成23年平成24年度、山形県空手道連盟総会が開催。前年度事業報告ならびに予算審議。本年度の専門部事業計画、大運営、予算などについて活発な審議が行われた。また本年度は役員改選の年にあたり審議の結果、新役員が誕生した。



山形県空手道連盟 会長 飛鳥宗一郎
被災地の各連盟へのお見舞い、支援活動、ご協力ありがとうございました。

昨年の総会が終わって、二月二十七日に第六回の樹氷大会を開催。8県から約500名の選手が集まり熱戦を繰り広げ、今までにないレベルの高い大会になりました。

しかし、その12日後に東日本大震災がおこり、翌日には福島原発事故と続きました。この大震災の被災地に対して連盟としてどのような支援の手を差し伸べることが出来るかを、緊急に検討しました。その結果、取り急ぎ東北の各連盟の理事長宛にお見舞いと状況をお知らせ頂きたいという趣旨を手紙にてお送りいたしました。

その後、被災地の各連盟に対してお見舞金を送付し、地震被害を把握しながら必要な物資の支援活動を行わせて頂きました。結果として空手仲間から私に対して、山形県連盟だけがいち早く対応をしていただいたとお礼の言葉を沢山いただきました。皆さんのご協力に心から感謝申し上げます。

げます。

さて今年4月1日から実施されます。中学校の武道必修化の問題につきまして、二冊の冊子を作りました。各団体理事の方々に一部つつ送らせて頂きましたが、さらに県内すべての中学校長、県知事、県教育委員長、教育長あてに届けさせて頂きました。

実際には、柔道や剣道が定着、学校の受け入れ態勢、指導者の問題など空手が採用されるかどうかは難しい問題です。しかし、すぐに採用されなくても、中学生には空手が面白い。取り入れやすい。空手で学んだ事がその人の人生の中に残る。このような信念のもとに、種まきのつもりで今回の行動を起こさせて頂きました。

青少年の健全育成には、文武両道という考え方が一つの日か必ず、空手が中学校の教育の中に着目されるであろうことを期待しております。



山形県空手道連盟 理事長・本部長 深瀬久男
被災された空手関係者の皆さんの早期復興を祈り、樹氷杯での再会を望みます。

昨年3月11日に起きました東日本大震災、そして福島第一原発事故。当県の被害は少なかつたものの、隣県の宮城、福島、岩手県に甚大な被害を受け多くの空手関係者も被災しました。県連盟として役員の皆様から義捐金を募り、被災した三県の空手連盟、日本赤十字社に対して義捐金を送っております。また被害の大きかった岩手県の大槌町に各団体より衣類、生活用品などの物資を

提供させて頂きました。皆様には御礼を申し上げます。昨年は、震災の影響で多くの大会が中止となりました。県内では、社会人大会、本年開催の樹氷杯。東北地区においては、東北中学生大会、東北総体は団体予選をかねた形のみが行われました。全国でも中学生の選抜大会、高校の選抜大会が中止になりました。本年は今まで通り大会が開催されますが、本年と来年の

8月開催の東北総体は、団体予選をかねた形競技のみになることと決定。今年は秋田、来年は福島の予定でしたが二年先送りとなり、山形で開催することが決定しました。

昨年の大会を振り返れば、8月の全中大会で日新中学校が男子団体組手にて5位。その他の全国大会では、残念ながら上位入賞を果たすことができませんでした。

只、12月の全日本大会で県対抗団体戦において男子は三回戦、女子は二回戦と、満足のいく結果ではありませんが、当県の高校生、大学一二年生の若い選手が本当にがんばってくれました。今年の更なる成長を期待しております。

中学校武道必修正課に向けて 空手道の立場から..



山形県空手道連盟会長 飛鳥宗一郎 著

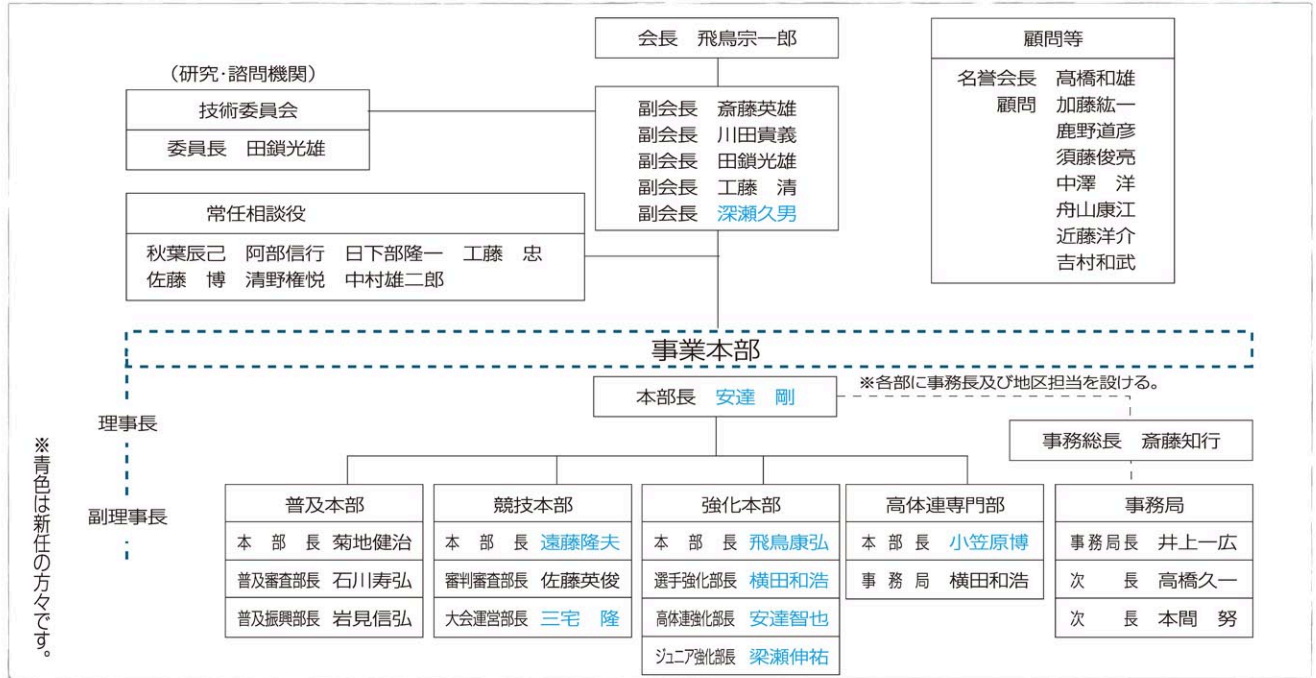
平成24年度より、全国斉に中学校保健体育教科の中で、1・2学年が武道を必修正課として履修させると決定。今後の中学生指導とあわせ、空手道が県内でいくつかの中学校において採用される事を念願して、その働きかけを行う資料として作成しました。

※A4／本文84ページ



平成24年度 山形県空手道連盟役員 新体制図

(平成24年2月5日現在)



新任のご挨拶

互いに切磋琢磨し、様々な経験を積んで
絆を深め、尊重し合う豊かな人間性を
身につけよう。



山形県空手道連盟
理事長・本部長

安達 剛

このたび開催された山形県空手道連盟総会に於いて、深瀬理事長の後任として、理事長に就任することになりました。この場をお借りして、ご挨拶を申し上げます。

昨年は東日本大震災、原発事故により甚大な被害を受け、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。二日も早い復興をお祈りいたします。

山形県空手道連盟は3年後には発足50周年を迎えます。その歴史と伝統ある県連の理事長に就任し、責任の重さを感じつつ、所属団体皆様の御協力を得て、全力で職務にあたっていく所存です。

今年度より、競技力向上のための選手強化と指導者育成、中学校・高校の連携の強化を目的に高体連専門部を事業本部に加え、4つの専門部の体制となりました。また、平成24年度から全国の中学校の保健体育の授業で武道が必修となり、武道教育の重要性が見直されました。空手道も武道の必修正課として実施可能となりましたが、県連盟としても中学校に校でも多く採用されるように推進していきます。

ジュニアの健全育成、運動の大切さ、生涯スポーツ、健康寿命など注目されている時、空手道は心身の成長、健康増進、人間形成のため、生涯継続できるスポーツであり、武道です。山形県は、これまで全国小学生大会・全国中学生

大会・全国高校選抜大会・インターハイ・全日本学生選手権大会・全日本大学選手権大会・国民体育大会・日本スポーツマスターズ・全日本大会・世界大会・各種大会で優勝、入賞の選手を数多く輩出してきました。

これから各種大会が開催されますが、大会を目標に切磋琢磨し、上達の実感、勝つ喜び、負ける悔しさなど、いろいろな経験を積んで成長し、お互いの絆を深め、尊重し合う豊かな人間性を身につけてくださるよう期待します。

会員皆様が各種大会、県指定選手の強化練習、審判講習会、昇段審査、資格取得等の機会にチャレンジして、レベルアップしていくことが、これからの県連の発展を支える力になります。

空手道を多くの方に普及し、その中からトップアスリートを育成し、また指導者、審判員を養成し、次の時代を担う優秀な人材を育てたいという目標を持って、普及本部・競技本部・強化本部・高体連専門部技術委員会・スタッフ同連携を取って、所属団体皆様のニーズに応えていくよう活動していきます。

又、今年はロンドンオリンピックが開催されます。近い将来、空手道がオリンピック種目になると確信し、山形県からオリンピック選手を育てたいというビジョンを持っています。

今後とも、より一層の御協力と御支援をお願い申し上げます。

お願ひ申し上げます。

平成24年度 各専門部事業計画

- 普及本部
 - ①空手ネットワーク19号の発行
- 技術講習会の実施
 - ②技術講習会の実施
4月22日(日) 山形市スポーツセンター剣道場
- 県連ホームページの管理運営
 - ③県連ホームページの管理運営
- 中体連加盟活動の推進
 - ④中体連加盟活動の推進
- 競技本部
 - ①審判養成事業
 - ②全国公認審判講習会
4月21日(土)
- 審判協議会総会
 - ③審判協議会総会
4月21日(土)
- 山形県空手道連盟審判講習会
 - ④山形県空手道連盟審判講習会
4月22日(日)
- 県内各大会における申し合わせ事項の検討
 - ⑤県内各大会における申し合わせ事項の検討
- 県内各種大会の記録および結果の保管 他
 - ⑥県内各種大会の記録および結果の保管 他
- 強化本部
 - ①国体・全日本選手権東北総体に向け代表選手の強化
- ジュニア指定選手の強化
 - ②ジュニア指定選手の強化
- 高体連専門部
 - ①競技力向上のための選手強化と指導者育成
 - ②中学校、高校の連携強化
- 技術委員会
 - ①ジュニア指導の手引き検討
 - ②技術資料の提供(運動神経の科学その3)
 - ③高齢者向けトレーニングプログラムの作成

【道場訪問】崇武館本部 女子部

空手を始めるのに遅すぎることはない。 目標は、中村雄二郎先生の年齢86歳まで 続けること。

練習は毎週土曜日、午後2時から4時までの二時間をフルに使っている。週一回、土曜日の午後、女子部の面々は「一番自由になる時間」に空手を楽しんでいる。

現在、部員は9名。40歳〜70歳までの女性たちが汗を流している。自慢は、平成17年3月の創部以来、退会者が1人もいないこと。退会する人がいないのは、空手の魅力もさることながら和気あいあいと切磋琢磨できる環境にあるのかも知れない。部長を務める大賀恵美子さんは、昭和48年の第三回全日本選手権に山形から初めて女子選手として形試合に出場。

副部長の高田晴美さんも団体を始め様々な大会で活躍。県連女子空手の草分け的な存在でもある。女子部ができるきっかけは、平成17年の崇武館道場鏡開きの時に、ひよんな事から「空手はしたいけど子育てや家事を考えると夜の練習はつらいかな」という話がでて、誰から

ともなく「それじゃあ土曜日の午後からなら練習できるんじゃない」と話がまとまり、意気投合した4人で女子部がスタートした。

●空手を始めた動機はそれぞれ。
●渡邊道子さんは、お茶を飲みに行った時に「今度、女子部ができるから見て来ないか」と誘われて65歳で入部。トレパン、トレシャツから始めて、今では黒帯を締め、夏はテニス、そして筋トレが日課になるほど生活が一変した。

●森山ひろみさんは、平成21年に入部。二年目で黒帯を締めた。中学生の時にブルースリーにあこがれ、空手をやりたかったが機会がなく子供に空手を習わせる。しかし思いは断ちがたく、一度きりの人生「私は空手をやる」と決意して門をたたいた。

●野尻裕子さんは、40歳で空手をはじめて二十数年、現在、四段。天重支部で指導員として後輩の育成にあたっているが、ここでは教えていただく立場で自分の練習ができる。また同じ年代の方たちと練習することで励みになる。

動機やきっかけはそれぞれではあるが、互いに良い影響を受けて、一人ではないというのが続いている理由のようだ。練習は、ストレッチ、その場突き、その場蹴り、移動稽古、形と続く。練習の中で特に注意しているのは、休憩を多めに取り入れて水分補給をこまめにおこなうこと。

●空手の魅力はなんですか？
●家を歩出るとスイッチが切り替わって他のことを忘れることができる。

●空手は奥が深く、やればやるほど新しい発見があり、知りたい事が次から次へとてくる。

●大会に出て勝ち負けのレベルではなく、女子部の意義は続ける事にある。母親という役割ではなく、妻という役割ではなく、空手を通して人間としての価値観を感じることができる。

●一緒に汗を流せる仲間たちと時間を共有できるのは幸せ

●これからの目標は？
当面の目標は10月の崇武館大会のエキシビジョンで女子部全員で団体形を演じる事。毎回好評で、やりきった満足感と達成感がある。

毎年ちがう形にチャレンジしていて、今では、7つの指定形と和道のセイシヤン、ナイハチをマスターしている。

そして最高齢86歳でマスターズに挑戦し続ける中村雄二郎先生の年齢まで続ける事。

●最後に一言スピーチ
子育てにひと段落ついたお母さんたち！冷暖房完備の道場で一緒に空手を始めませんか？日常の中でムリをせず、生活の一部としてできる空手が理想。

取材を終えて感じたのは、空手を始めるのに遅すぎることはないという事。

また空手は試合に出る事だけではなく、生涯を通して学び続けることができる武道であることを、改めて女子部の皆さんに教えて頂きました。年代を超えて空手を楽しむ姿に生涯武道の可能性を垣間見ることができました。



現在、部員は9名。40歳〜70歳までの女性たちが汗を流している。自慢は、平成17年3月の創部以来、退会者が1人もいないこと。退会する人がいないのは、空手の魅力もさることながら和気あいあいと切磋琢磨できる環境にあるのかも知れない。部長を務める大賀恵美子さんは、昭和48年の第三回全日本選手権に山形から初めて女子選手として形試合に出場。

副部長の高田晴美さんも団体を始め様々な大会で活躍。県連女子空手の草分け的な存在でもある。女子部ができるきっかけは、平成17年の崇武館道場鏡開きの時に、ひよんな事から「空手はしたいけど子育てや家事を考えると夜の練習はつらいかな」という話がでて、誰から

ともなく「それじゃあ土曜日の午後からなら練習できるんじゃない」と話がまとまり、意気投合した4人で女子部がスタートした。

●空手を始めた動機はそれぞれ。
●渡邊道子さんは、お茶を飲みに行った時に「今度、女子部ができるから見て来ないか」と誘われて65歳で入部。トレパン、トレシャツから始めて、今では黒帯を締め、夏はテニス、そして筋トレが日課になるほど生活が一変した。

●森山ひろみさんは、平成21年に入部。二年目で黒帯を締めた。中学生の時にブルースリーにあこがれ、空手をやりたかったが機会がなく子供に空手を習わせる。しかし思いは断ちがたく、一度きりの人生「私は空手をやる」と決意して門をたたいた。

●野尻裕子さんは、40歳で空手をはじめて二十数年、現在、四段。天重支部で指導員として後輩の育成にあたっているが、ここでは教えていただく立場で自分の練習ができる。また同じ年代の方たちと練習することで励みになる。

動機やきっかけはそれぞれではあるが、互いに良い影響を受けて、一人ではないというのが続いている理由のようだ。練習は、ストレッチ、その場突き、その場蹴り、移動稽古、形と続く。練習の中で特に注意しているのは、休憩を多めに取り入れて水分補給をこまめにおこなうこと。

●空手の魅力はなんですか？
●家を歩出るとスイッチが切り替わって他のことを忘れることができる。

●空手は奥が深く、やればやるほど新しい発見があり、知りたい事が次から次へとてくる。

●大会に出て勝ち負けのレベルではなく、女子部の意義は続ける事にある。母親という役割ではなく、妻という役割ではなく、空手を通して人間としての価値観を感じることができる。

●一緒に汗を流せる仲間たちと時間を共有できるのは幸せ

●これからの目標は？
当面の目標は10月の崇武館大会のエキシビジョンで女子部全員で団体形を演じる事。毎回好評で、やりきった満足感と達成感がある。

毎年ちがう形にチャレンジしていて、今では、7つの指定形と和道のセイシヤン、ナイハチをマスターしている。

そして最高齢86歳でマスターズに挑戦し続ける中村雄二郎先生の年齢まで続ける事。

●最後に一言スピーチ
子育てにひと段落ついたお母さんたち！冷暖房完備の道場で一緒に空手を始めませんか？日常の中でムリをせず、生活の一部としてできる空手が理想。

取材を終えて感じたのは、空手を始めるのに遅すぎることはないという事。

また空手は試合に出る事だけではなく、生涯を通して学び続けることができる武道であることを、改めて女子部の皆さんに教えて頂きました。年代を超えて空手を楽しむ姿に生涯武道の可能性を垣間見ることができました。

●最後に一言スピーチ
子育てにひと段落ついたお母さんたち！冷暖房完備の道場で一緒に空手を始めませんか？日常の中でムリをせず、生活の一部としてできる空手が理想。

取材を終えて感じたのは、空手を始めるのに遅すぎることはないという事。

また空手は試合に出る事だけではなく、生涯を通して学び続けることができる武道であることを、改めて女子部の皆さんに教えて頂きました。年代を超えて空手を楽しむ姿に生涯武道の可能性を垣間見ることができました。

●最後に一言スピーチ
子育てにひと段落ついたお母さんたち！冷暖房完備の道場で一緒に空手を始めませんか？日常の中でムリをせず、生活の一部としてできる空手が理想。

取材を終えて感じたのは、空手を始めるのに遅すぎることはないという事。

また空手は試合に出る事だけではなく、生涯を通して学び続けることができる武道であることを、改めて女子部の皆さんに教えて頂きました。年代を超えて空手を楽しむ姿に生涯武道の可能性を垣間見ることができました。

●最後に一言スピーチ
子育てにひと段落ついたお母さんたち！冷暖房完備の道場で一緒に空手を始めませんか？日常の中でムリをせず、生活の一部としてできる空手が理想。

取材を終えて感じたのは、空手を始めるのに遅すぎることはないという事。

また空手は試合に出る事だけではなく、生涯を通して学び続けることができる武道であることを、改めて女子部の皆さんに教えて頂きました。年代を超えて空手を楽しむ姿に生涯武道の可能性を垣間見ることができました。

『尾浦空手道スポーツ少年団』

強くなる秘訣、

取材レポート

その練習メニューに学ぶ！ 質問すること、自ら考え 動ける空手を目指す。

ここ数年、ジュニア大会で力を付けてきている団体がある。取材先リストの中でも最初に出てくるのが尾浦空手道スポーツ少年団。その練習内容を取材に雪吹ぶく月山道を超えて行ってきた。

練習会場は、鶴岡市立鶴岡第五中学校武道館。ヒンヤリとした空気の中、17人の小中学生が道着の上に揃いのウィンドブレーカーを着こんでウォーミングアップ中。

「丸くなてー」の号令とともに練習がスタート。

まずは、縄跳びが始まった。前、後ろ、二重跳び、あや跳び、ダッシュ練習。足踏みダッシュ、ジャンプダッシュ、腹這いダッシュ。腕立て、腹筋・背筋と続き、1分×3セット五種類のメニューをこなす。

全メニューに要した時間は30分。その頃には、体も心も十分暖まり、ここからようやく基本稽古が始まる。

阿部 陸 師範に聴く

Q 最初に基礎トレをする目的は？

A 縄跳びは、高校の先生から良いよと言われた。始めました。いいと思うものは、どんな取り入れています。

最初、最初に負荷を掛けることで下半身の強化を意識してやっています。子供たちにはつらい練習をしないと言っている。100回やれば苦痛になる。集中しない50回よりも集中した10回のほうが良い。バリエーションを多くしていか



ていて、保護者からは練習の時よりも本番に強いと評価を得ています。

Q 指導で心がけていることは？

A 移動稽古も同じ考え方、数を少なくしてバリエーションを多く

ひとつの技の流れを最初はゆっくりと動きの中で覚えさせていく。特に形に連動する動きを意識しています。

Q 質問・考える・答える・理解する

A 練習で心がけているのは、とにかく考えさせるようにしています。

練習中、意識して子供たちに質問します。今、やっている事は、どういう意味があるのか？

考えて技を出しているのか？質問をしながら確認をします。頭に入っている子は即答します。

言われた事を漠然とやるだけでは何も身につけません。また、考えさせるために練習ノートを書くように指導しています。家に帰ってから練習で学んだことを書きとめることで、次に同じことを注意されないようになります。

ひとつひとつの技を

理解する事で空手を好きになつてもらいたい。そんな思いが根底にあります。

Q 子供達に伝えたい事

A 武道としての空手道。試合で勝つことも大切ですが、空手本来の礼儀、挨拶、言葉遣い、目上に対する敬意の仕方など精神的なものも守っていかねばなりません。日頃から挨拶・返事・気合いを大切にするように伝えていきます。

Q これからの目標は？

A 中学生は部活動でやっている以上、勝ちにこだわっていき

目標をしっかりと持って空手をやる子が増えれば、おのずと結果はついてきます。これから子供たちと楽しんで空手をやれたらいいですね。

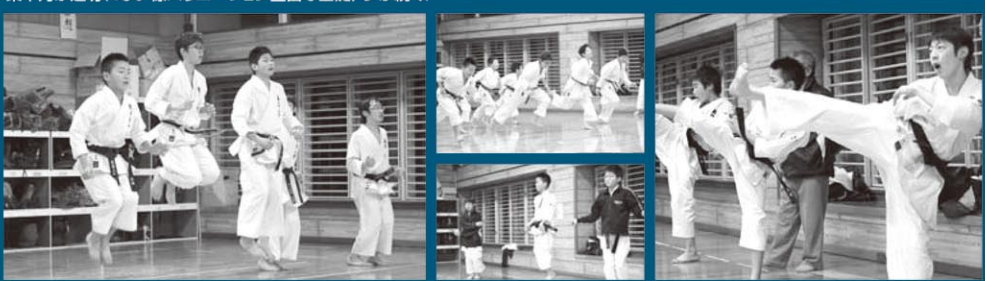
※鶴岡市立鶴岡第五中学校では、校外部として空手部が認定されている。

部員数4名。武道必修化では残念ながら剣道が必修化となる。

阿部師範は、一見すると強面で厳しい指導者を連想したが、練習中、子供たちを見守る眼は優しく、指導は常に質問を投げかけ自ら考えさせることに重点をおいたコーチング空手でした。取材を通して、厳しく叱るだけでは人は育たない。自ら考え実践させることが成長につながるという事を教えて頂きました。

ウインドブレーカーのマーク

集中力が途切れない様/バリエーション豊富な基礎トレが続く！



は、炎と尾浦の文字を表す。デザインナーに依頼しただけにカッコいい。尾浦の由来は、昔の地名にちなんでいる。

代表 阿部 陸

団員数 20名

指導者 4名

練習日 月・水・木・土

※曜日で会場が変わる

会派名 NPO法人 日本教育空手協会

空手 あれこれ 談話 (十四)

山形県空手道連盟会長

飛鳥 宗一郎

「べにばな国体」の意義(六)
わが選手団はいかに戦ったか(その三)

競技最終日の決勝戦と総合優勝まで



悲願の総合優勝！歴史に名前を刻んだ。

前回(昨年号)は、競技会最終日の10月7日(水)、本県選手団の組手個人戦準決勝戦をまでの模様を書いた。

ここまでの戦いで気になるのは、総合優勝の行方である。

前日の形競技準決勝戦は、その得点が決勝戦の点数と合算されて順位が決まるもので、少年女子・西堀裕子(天童高校3年)は1位で、成年女子・上妻千華(日本大学3年)は同点者が3人いる1位で、成年男子・丸山秀人(川崎電気(株))は1位で

通過している。1位通過とい

ても西堀は0・1点差、丸山は0・2点差であり、3名ともに苦しい決勝戦であることは間違いない。

10時30分、各コートで組手の3位決定戦が始まるが、本県選手の出番はない。

私はこの段階で点数集計を試みたところ、本県はこの後負けて最悪の成績なら40・5点

肉薄する東京都が全て最高成績なら46点となる。3番手の広島県は残り戦いなし、4番手の大阪府は最高成績を挙げても本県には及ばない。予想したとおり東京都との優勝争いである。

1 形競技決勝戦と総合優勝

◆少年女子

決勝戦の最初は少年女子形である。11時15分選手たちの入場で、本県は深瀬久男(有)やまりん味噌(株)女子監督と西堀選

手が中央のコートに入る。

郡司(群馬県)、森田(大阪府)の二人が25・4点と好調さを見せるが、6番目に準決勝戦2位の駒山(福岡県)が「エンビ」で25・8点の高得点。

最後の出番となった西堀は大きなプレッシャーの中で、「スパーリンペイ」を演じ25・8点を獲得、逆転を許さず0・1点差を守って最初の優勝者となる。重圧に負けず戦い切ったのは、練習量の多さで自分を信じ切つて臨んだからと思つた。

西堀の優勝で8点を獲得、東京都が今後最高の結果を出しても0・5点上回るため、男女総合優勝は決定した。安達剛(安達接骨院)男子監督にOKのサインを送る。皇后杯得点争いはこの種目が終わりで長野県が7位と後退したので、三村(長野県)が優勝しても上妻が6位以内に入れば優勝となる。

◆成年女子

次の決勝戦は成年女子形で、11時55分に選手は入場した。予想通り一番の三村(長野県)が26・0点、2番の横山(兵庫県)が25・9点と高得点を出してくる。上妻は7番目の出番で「ニーハイボ」で挑み気魄で演じ終わり、三村、横山に次ぐ25・8点を出した。準決勝同点の大阪府、石川県を突き放し3位を確保する。三村は予想どおり優勝したが、上妻の3位によって皇后杯優勝

も本県に決定した。

これで、天皇杯、皇后杯ともに優勝決定となったので、残りはこれから戦う選手たちが、最後の力を振り絞り最高の試合となるように願うばかりである。

◆成年男子

11時25分、宮城県・阿部選手を先頭に選手たちは入場した。本県の丸山は最後の出番である。丸山は予選順位1位だが2位の阿部(宮城県)、長谷川



対神奈川県にのぞむ飛鳥、斉藤、瀬野の3選手。

(山梨県との差は0・2点である。アジア大会王者の阿部は25・8点、長谷川も25・7点という高得点を出してくる。最後の丸山は、練りに練った「ヘイク」で奮戦するが25・6点に止まり、合計点で阿部と並び、主審は念入りに得点を確認し、カットされた点数の内容差により丸山の優勝が決定。

私は、ここで初めて近く

スタッフたちに天皇杯、皇后杯優勝が確定したことを知らせた。

2 組手競技の決勝戦

◆団体戦

対戦相手は、過去10年間で3回の優勝、昨年の石川県国体では準優勝と安定した戦果を誇る東京都チームである。13時5分試合は開始された。

安達 剛監督が率いる本県チームは、先鋒・齋藤彰宏(県スポーツ振興基金)対東京都・松枝(日本体育大)から始まり、「進」退の攻防の後、齋藤が5-4で辛勝する。中堅は山形県・横田対東京都・池長(大正大学)戦は、横田が5-1とリードしながら、5-5と追い付かれる。東京都はこの試合を落とせば優勝はなくなるので、最後の1ポイントを狙う池長は果敢に攻めるが、焦りから上段突きが2度横田の顔を直撃し、その時点で池長に「警告」が与えられて終了。瀬野利幸(川崎電気(株))の大將戦(東京都・清水)を待たず本県チームの初優勝が決定した。横田は、個人戦こそ準々決勝で敗退(5位入賞)したものの、途中出場の団体戦では闘志あふれる戦いに終始し、怪我のある飛鳥康弘(県総合運動公園)の代役をきっちり果たしてくれた。

◆少年男子

13時25分、本県の吉田俊英(東

海大山形高校3年)と対戦相手の東京都の筒井(世田谷学園高校がコートに登場。筒井は8月のインターハイ優勝者である。互いに慎重な試合運びながら、吉田は果敢に攻めるが返し技で得点されて0-3とリードを許す。勝負を捨てない吉田は上段突きを立て続けに2つ決め、応援の声が大きく沸くが残り時間わずか3秒、筒井が逃げ切つて優勝、吉田は大会闘で準優勝を勝ち取った。

◆成年男子中量級

軽量級と同時に進行である。齋藤と対戦する峰(群馬県)は、準決勝戦で世界大会優勝者の安住(宮城県)を6-4で破つて決勝戦に進出。齋藤の大学後輩である。

13時30分両者はコートに上がる。

後輩とはいいながら、齋藤の手の内を知られている可能性があり油断はできない。しかし、戦いは齋藤に二日の長あり、必死に食い下がる峰を時間前に6-1で退けて、齋藤の優勝が決まった。

◆成年男子重量級

13時40分、3日間の競技最



9種目中、5種目優勝、4種目入賞。

後を飾るのは、重量級と無差別級の決勝戦で、A・B両コートで同時進行となる。観客席は戦い終えた選手・監督と応援者、顔、顔の満席状態であり、声援も際大さき。

大事をとり団体戦は初戦だけで交替した飛鳥の対戦相手は、準決勝戦では昨年度の全日本選手権大会覇者の藤田(大阪府)を延長の末破り決勝に進出した千葉県期待の国分である。飛鳥は山梨国体重量級では準優勝者で、ここは是非でも優勝したいところ。

開始された試合の15秒が過

(2ポイント)。これでパワフルな国分の攻撃力は減退し、飛鳥へスに持ち込み、終わって4-2で退けて優勝を決める。競技会場が勤務先であり、選手宣誓を担った飛鳥念願の優勝である。

◆成年男子無差別級

瀬野の対戦者である内田(京都府)は、全日本選手権や世界選手権大会の覇者であり、同じく世界の覇者である2人(林(新潟県)を準々決勝で、清水(東京都)を準決勝戦で破つての決勝進出である。

瀬野は、不調に悩んだ時期もあったが、一試合ずつ大切に戦いこまです

がってきた。チーム最年長者、キャプテンとしてチームを牽引してきた精神的苦勞も戦いの中にかがうことできる。勇猛に攻めに攻めるが、一歩及ばず0-3で敗れる。強者が揃つこの種目で、立派に準優勝の成績を納める健闘であった。

3 戦い終わって

全ての競技は終わった。この瞬間、何故か二日前の専用練習場フル2階会議室におけるチーム出陣式の場面を思い浮かべた。その場には、選手、監督、強化スタッフ、形試技選手、組手練習補助者、それに選任コーチの田邊文博先生(日本大学空手部監督)と関係者



総合優勝の賞状と大会会長トロフィーが授与。

が勢揃いしていた。私は選手団に対し、「臨戦態勢と位置づけ、最後の24か月を全力で頑張り、やるべきことは全てやり尽くした。こ

れから始まる戦いに臨んでは、よしんば一敗地にまみれることあつても、監督や選手に責任はない。全て強化本部長である私の責任である。監督は思い通りの指示を出し、選手は勝利にこだわる気持ちを捨て、全力で戦いを展開すればよい。この場面に出会った幸せを思い、それぞれの名譽に掛け、不退転の決意をもって3日間を過ごしてほしいと言ったことである。選手団は人違わずその通り行動してくれたと確信した。これは勝敗とか総合優勝などの成績とは無関係であるとともに、互いに信じ合い、一丸となって無我の境地で突き進んだ証と思えた。

選手団の誰一人として、体で喜びを表現したり、ガッツポーズをする者はいなかった。ただ

4 種目別賞状授与式

14時20分、9種目入賞者の賞状授与式が始まった。本県は唯一の全種目入賞である。

正面に向かって八つのお立ち台が設えられ、成年男子団体戦から表彰は始まる。安達剛男子監督が、呼ばれて最も高い台に上がる。他都道府県の監督たちを控えさせ、堂々と屹立するが、ごく姿勢を正す身体から察するに、選手たちの一戦一戦が今脳裏に浮かんでいるに違いない。

大会名誉会長の鈴木雅廣、童市長から賞状が授与され、次いで準優勝以下のチームが一斉に賞状を受ける。

このように、本県5種目優勝、全種目入賞となつた賞状授与は、次いで少年女子形の西堀選手から最後の成年男子組手無差別級の瀬野選手まで滞りなく進行する。

5 表彰式

種目別の賞状授与式に続き15時から表彰式となる。全都道府県の選手団が開会式と同じく入場行進する。

表彰は総合成績である。本県安達剛男子監督に総合優勝の賞状と天皇杯、そして大会会長トロフィーが授与され、次い



任務を果たした安堵感から思わず笑みがこぼれる。

で2位以下8位までのチームが表彰される。安達監督が表彰台に上つたのは、前年の石川国体総合6位以来である。次いで深瀬女子監督に女子総合優勝賞状と皇后杯が授与され、以下8位までのチームに賞状が授与された。

競技会会長代理の本県連盟の高橋和雄会長が挨拶、天童市鈴木市長の歓送の言葉、(財)全空連・若林専務理事の閉式通告、その後、次期開催地徳島県三加茂町長に「競技会旗」が引き継がれ、全ての大会日程は15時30分に終了した。

来月号では、開催準備と総合優勝までの全体を顧み、この「べにはな国体」の意義を終わることしよう。(つづく)

平成23年度

大会ハイライト

第11回全日本少年少女空手道選手権大会
第19回全国中学生空手道選手権大会
山形県予選会
5月8日

山形県運動公園体育館サブアリーナ

ナ

《形》

小学1年生男子個人形

小学2年生男子個人形

小学3年生男子個人形

小学4年生男子個人形

小学5年生男子個人形

小学6年生男子個人形

小学7年生男子個人形

小学8年生男子個人形

小学9年生男子個人形

小学10年生男子個人形

小学11年生男子個人形

小学12年生男子個人形

小学13年生男子個人形

小学14年生男子個人形

小学15年生男子個人形

小学16年生男子個人形

小学17年生男子個人形

小学18年生男子個人形

小学19年生男子個人形

小学20年生男子個人形

小学21年生男子個人形

小学22年生男子個人形

小学23年生男子個人形

小学24年生男子個人形

小学25年生男子個人形

小学26年生男子個人形

小学27年生男子個人形

小学28年生男子個人形

小学29年生男子個人形

小学30年生男子個人形

小学31年生男子個人形



①齋藤沙希(北辰小)
②阿部若菜(長岡小)
③伊藤希恵(日新中)
④井上夕希(新庄中)
⑤中学生男子団体形
⑥米沢一中
⑦日新中

《組手》
小学1年生男子個人組手

①金子晏莉(南山形小)
小学2年生女子個人組手
②天野寧音(東根小)
③細矢優衣(山形五小)
小学4年生女子個人組手
④牧野流果(清延小)
⑤本間健菜(長井小)
小学5年生女子個人組手
⑥大江佑奈(寒河江南部小)
⑦小林彩乃(沼田小)
小学6年生女子個人組手
⑧元木文(本合海小)
⑨早坂紫苑(鮎川小)
中学生女子個人組手
⑩飛鳥有衣子(山形十中)
⑪伊藤希恵(日新中)
中学生男子団体組手
⑫明倫中
⑬日新中
中学生女子団体組手
⑭新庄中

《形》

小学1年生男子
①柿崎颯樹(山大附小)
②梅津優太(長井平野小)
③齋藤仁(西根児童センター)
④山水良真(長井小)
小学2年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②佐藤由恵美(北辰小)
③長南令夏(北辰小)
小学3年生男子
①小林聖(浜中)
②飯野元陽(川土居小)
③小浦佑斗(米沢上郷小)
④石山太郎(山形六小)
小学4年生男子
①池田聖菜(条小)
②黒木涼香(山形八小)
③佐藤鈴華(八幡小)
小学5年生男子
①中安晴太(松原小)
②渡辺拓真(豊田小)
③相沢歩生(蔵王小)
④佐藤銀河(鶴岡京田小)
小学6年生男子
①阿部瑠奈(天童長岡小)
②片倉菜結(長崎小)
③阿部莉奈(鮎川小)
④高橋綾乃(高松小)
小学7年生男子
①石井光喜(米沢南部小)
②齋藤伸(米沢松川小)
③齋藤祥(長岡小)
④渡辺敬斗(長井小)
小学8年生男子
①吉見彩(西山小)
②渡部紗弓(長井平野小)
③三木とも(寒河江中部小)
④牧野流果(清延小)
小学9年生男子
①荒木翔太(新庄小)
②石田竜聖(沼田小)
③高橋志龍(高松小)
④峰田悠生(校田小)
小学10年生男子
①阿部莉々子(沼田小)
②佐藤穂果(北辰小)
③小林彩乃(沼田小)
④高桑伶奈(沼田小)
小学11年生男子
①安部夢有人(米沢南部小)
②荒木一成(新庄小)
③今野裕吾(朝陽二小)
④渡部玲(日新小)
小学12年生男子
①齋藤沙希(北辰小)
②阿部若菜(天童長岡小)
③早坂紫苑(鮎川小)
④元木文(本合海小)
小学13年生男子
①細矢魁斗(神町中)
②武田祐汰(明倫中)
③本間岳(酒田三中)
④廣木駆(鶴岡五中)
小学14年生男子
①古山花(米沢七中)
②菅原清か(山大附中)
③松永美唯(鶴岡二小)
④武田紗耶(山形四中)
小学15年生男子
①叶内史也(日新中)
②飯野慎也(米沢三中)
③安部文弥(米沢中)
④市川裕士(米沢二中)
小学16年生男子
①国分桃香(新庄中)
②飛鳥有衣子(山形十中)
③長岡里奈(長井北中)
小学17年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学18年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学19年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学20年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学21年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学22年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学23年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学24年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学25年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学1年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
小学2年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学3年生男子
①菅原清か(山大附中)
②武田紗耶(山形四中)
③古山花(米沢七中)
④松永美唯(鶴岡二小)
小学4年生男子
①飯野慎也(米沢三中)
②叶内史也(日新中)
③菅原元氣(鶴岡五中)
④渡部瑞生(日新中)
小学5年生男子
①国分桃香(新庄中)
②飛鳥有衣子(山形十中)
③阿部薫子(明倫中)
④菅原結衣(朝日中)
小学6年生男子
①齋藤連(明倫中)
②市川広樹(米沢中)
③金子裕哉(米沢七中)
④鈴木慶(山形二小)
小学7年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)

《組手》

小学1年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学2年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学3年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学4年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学5年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学6年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学7年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学8年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学9年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学10年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学11年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学12年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学13年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学14年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学15年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学16年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学17年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学18年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学19年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学20年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学21年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学22年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学23年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学24年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学25年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学26年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学27年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学28年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学29年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学30年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学31年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学32年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学33年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学34年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学35年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学36年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学37年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学38年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学39年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学40年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学41年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学42年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学43年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学44年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学45年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学46年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学47年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学48年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学49年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学50年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学51年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学52年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学53年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学54年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学55年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学56年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学57年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学58年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学59年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学60年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学61年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学62年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学63年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学64年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学65年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学66年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学67年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学68年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学69年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学70年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学71年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学72年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学73年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学74年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学75年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学76年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学77年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学78年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学79年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学80年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学81年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学82年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学83年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学84年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学85年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学86年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学87年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学88年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学89年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学90年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学91年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学92年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学93年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学94年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学95年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学96年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学97年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学98年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学99年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学100年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学101年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学102年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学103年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学104年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学105年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学106年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学107年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学108年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学109年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学110年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学111年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学112年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学113年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学114年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学115年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学116年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学117年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学118年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学119年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学120年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学121年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学122年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学123年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学124年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学125年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学126年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学127年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学128年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学129年生男子
①梅津優太(長井平野小)
②柿崎颯樹(山大附小)
③梅津昂征(長井小)
④横山宗史(長井小)
小学130年生男子
①伊藤瑠愛(山形小)
②長南令夏(北辰小)
③佐藤由恵美(北辰小)
小学131年生男子
①高橋慶(西山形小)
②遠田高樹(西遊佐小)
③村井照明(清山小)
④石山太郎(山形六小)
小学132年生男子
①佐藤鈴華(八幡小)
②池田聖菜(条小)
③黒木涼香(山形八小)
④天野寧音(東根小)
小学133年生男子
①相沢歩生(蔵王小)
②佐藤銀河(鶴岡京田小)
③館内直哉(山形七小)
④板垣佑亮(上山小)
小学134年生男子
①片倉菜結(長崎小)
②高桑愛香(西根小)
③南川優希(宮浦小)
小学135年生男子
①齋藤伸(米沢松川小)

《組手》

小学136年生男子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③丸岡秀光(鳥海八幡中)
④横田駿介(山形十中)
小学137年生男子
①伊藤希恵(日新中)
②井上夕希(新庄中)
③中山友里(米沢三中)
④金沢奈苗(山形十中)
小学138年生男子
①梅津優

9月18日(日)

◎南陽高等学校体育館

《形》

▲高校男子個人戦の部

①卓永光(東海大山形高校)

②佐藤成(酒田南高校)

③大類久典(天童高校)

④土田秀治(新庄北高校)

▲一般男子個人戦の部

①松永政和(サイクランド松永)

②石倉弘章(東北芸術工科大学)

▲高校一般女子個人戦の部

①大石恵(東海大山形高校)

②今野桃(天童高校)

③小林未希(天童高校)

④遠田ゆかり(酒田南高校)

《組手》

▲高校男子組手個人戦の部

①木村光稀(東海大山形高校)

②鈴木峻太(東海大山形高校)

③芝田友平(酒田南高校)

④北脇攻守(酒田南高校)

▲一般男子有段者A組手個人戦の部

①伊藤真太郎(日本大学)

②後藤直樹(株九定)

③豊後怜(東海大山形高校)

④叶内聖也(酒田南高校)

▲一般男子有段者B組手個人戦の部

①島貫孝(有島貴メテアノ)

②林崎朋義(東ソーS.M.C)

▲一般男子有級者個人戦の部

①高橋真吾(株岡製作所)

②秋庭元希(東北芸術工科大学)

③石倉弘章(東北芸術工科大学)

④斎藤和人(株サン十)

▲高校一般女子A組手個人戦の部

①小林未希(天童高校)

②仙台士才(酒田南高校)

③今野桃(天童高校)

④仙台士才(酒田南高校)

▲高校一般女子B組手個人戦の部

①松山美稀(南陽高校)

②金子成美(南陽高校)

③江口美樹(南陽高校)

④菅原菜幹(南陽高校)

▲高校男子組手団体戦

①東海大山形高校

②酒田南高校

③新庄北高校

④県立天童高校

▲高校女子組手団体戦

①県立南陽高校

②酒田南高校

③県立天童高校

▲一般男子組手団体戦

①東北芸術工科大学

②米澤五条空手クラブ

第19回山形県少年少女空手道選手権大会

会

◎10月2日

◎山形県立天童高等学校体育館

《形》

▲男子総合

①新庄市空手道入部1少少年団

②米沢市空手道入部1少少年団(風)

▲女子総合

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子団体形

①新庄市空手道入部1少少年団A

②新庄市空手道入部1少少年団B

③米沢市空手道入部1少少年団(風)

④天童市空手道入部1少少年団

▲女子団体形

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子組手

①新庄市空手道入部1少少年団A

②新庄市空手道入部1少少年団B

③米沢市空手道入部1少少年団(風)

④天童市空手道入部1少少年団

▲女子組手

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子個人形

①荒木翔太(新庄市空手道入部1少少年団)

②安部夢有人(米沢市空手道入部1少少年団(風))

③峰田悠生(崇武館空手道入部1少少年団)

④緑川凌(拳和会館村山支部空手道入部1少少年団)

⑤齋藤沙希(新庄市空手道入部1少少年団)

▲女子個人形

①新庄市空手道入部1少少年団

②余目空手道入部1少少年団

③男子個人形

④女子個人形

⑤男子個人形

⑥女子個人形

⑦男子個人形

⑧女子個人形

⑨男子個人形

⑩女子個人形

⑪男子個人形

⑫女子個人形

⑬男子個人形

⑭女子個人形

⑮男子個人形

⑯女子個人形

⑰男子個人形

⑱女子個人形

⑲男子個人形

⑳女子個人形

㉑男子個人形

㉒女子個人形

㉓男子個人形

㉔女子個人形

第22回山形県ジュニア選抜空手道選手権大会

◎10月30日

◎鶴岡市朝陽武道館(剣道場)

会

◎10月2日

◎山形県立天童高等学校体育館

《形》

▲男子総合

①新庄市空手道入部1少少年団

②米沢市空手道入部1少少年団(風)

▲女子総合

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子団体形

①新庄市空手道入部1少少年団A

②新庄市空手道入部1少少年団B

③米沢市空手道入部1少少年団(風)

④天童市空手道入部1少少年団

▲女子団体形

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子組手

①新庄市空手道入部1少少年団A

②新庄市空手道入部1少少年団B

③米沢市空手道入部1少少年団(風)

④天童市空手道入部1少少年団

▲女子組手

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子個人形

①荒木翔太(新庄市空手道入部1少少年団)

②安部夢有人(米沢市空手道入部1少少年団(風))

③峰田悠生(崇武館空手道入部1少少年団)

④緑川凌(拳和会館村山支部空手道入部1少少年団)

⑤齋藤沙希(新庄市空手道入部1少少年団)

▲女子個人形

①新庄市空手道入部1少少年団

②余目空手道入部1少少年団

③男子個人形

④女子個人形

⑤男子個人形

⑥女子個人形

⑦男子個人形

⑧女子個人形

⑨男子個人形

⑩女子個人形

⑪男子個人形

⑫女子個人形

⑬男子個人形

⑭女子個人形

⑮男子個人形

⑯女子個人形

⑰男子個人形

⑱女子個人形

⑲男子個人形

⑳女子個人形

㉑男子個人形

㉒女子個人形

㉓男子個人形

㉔女子個人形

第22回山形県ジュニア選抜空手道選手権大会

◎10月30日

◎鶴岡市朝陽武道館(剣道場)

会

◎10月2日

◎山形県立天童高等学校体育館

《形》

▲男子総合

①新庄市空手道入部1少少年団

②米沢市空手道入部1少少年団(風)

▲女子総合

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子団体形

①新庄市空手道入部1少少年団A

②新庄市空手道入部1少少年団B

③米沢市空手道入部1少少年団(風)

④天童市空手道入部1少少年団

▲女子団体形

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子組手

①新庄市空手道入部1少少年団A

②新庄市空手道入部1少少年団B

③米沢市空手道入部1少少年団(風)

④天童市空手道入部1少少年団

▲女子組手

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子個人形

①荒木翔太(新庄市空手道入部1少少年団)

②安部夢有人(米沢市空手道入部1少少年団(風))

③峰田悠生(崇武館空手道入部1少少年団)

④緑川凌(拳和会館村山支部空手道入部1少少年団)

⑤齋藤沙希(新庄市空手道入部1少少年団)

▲女子個人形

①新庄市空手道入部1少少年団

②余目空手道入部1少少年団

③男子個人形

④女子個人形

⑤男子個人形

⑥女子個人形

⑦男子個人形

⑧女子個人形

⑨男子個人形

⑩女子個人形

⑪男子個人形

⑫女子個人形

⑬男子個人形

⑭女子個人形

⑮男子個人形

⑯女子個人形

⑰男子個人形

⑱女子個人形

⑲男子個人形

⑳女子個人形

㉑男子個人形

㉒女子個人形

㉓男子個人形

㉔女子個人形

第22回山形県ジュニア選抜空手道選手権大会

◎10月30日

◎鶴岡市朝陽武道館(剣道場)

会

◎10月2日

◎山形県立天童高等学校体育館

《形》

▲男子総合

①新庄市空手道入部1少少年団

②米沢市空手道入部1少少年団(風)

▲女子総合

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子団体形

①新庄市空手道入部1少少年団A

②新庄市空手道入部1少少年団B

③米沢市空手道入部1少少年団(風)

④天童市空手道入部1少少年団

▲女子団体形

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子組手

①新庄市空手道入部1少少年団A

②新庄市空手道入部1少少年団B

③米沢市空手道入部1少少年団(風)

④天童市空手道入部1少少年団

▲女子組手

①新庄市空手道入部1少少年団

②寒河江空手道入部1少少年団

▲男子個人形

①荒木翔太(新庄市空手道入部1少少年団)

②安部夢有人(米沢市空手道入



空手情報誌「あゆみ」に掲載された空手授業の様子。「あゆみ」2012年1月号より掲載

中学校武道 必修化に 向けて



今年度から、全国の中学校において1、2学年男女とも保健体育科目の中で武道が必修課となり、3学年になっても選択できる制度に変わりました。

武道必修化の背景

●58年の「中学校学習指導要領」では、教科の中に「格技」の名称で武道が男子生徒の必修となり、柔道、剣道、相撲の三種目が対象となったが、格技と武道では大きく意味合いが相違。武道の名称が用いられるのは86年からで、その時点から選択領域となりました。

新「学習指導要領」では、それまでの柔道、剣道、相撲の三種目に加えて、「地域や学校の実態に応じて、さまざまなその他の武道についても履修させることができる」と加えられました。あくまでも三種目が主軸であっても、武道団体の一つとして喜ばしいことです。

●対象となる武道とは？

日本武道競技団体に参加している全国組織が対象となります。

柔道・剣道・相撲・空手・合気道・少林拳法・なぎなた・弓道・それに銃剣道です。

Q、なぜ今、武道なのか？



平成23年度 中学校武道必修化に向けた地域連携推進事業(文部科学省補助事業)
2011年11月25日、北海道北広島市立東部中学校(内野匡宏校長)で空手道の公開授業が行われました。研究事業として昨年度から実践と工夫を重ねてきた東部中学校の事例は、男女が一緒に空手道を学習すること、教材の活用、評価のつけ方、空手道経験のない体育の先生と外部指導者との連携など、今後空手道を導入する中学校で多に参考になりそうです。

「あゆみ」2011年12月号より掲載

「これは、わが国の歴史とともに積み上げられてきた武士の身体操作技法と修練を支えてきた伝統精神を学ぶことにより、日本人としての誇りや本性を認識し、祖国を愛する精神を涵養し、国際的な視野を得ることにあります。」

二つには、単に強さや勝ち負けだけを希求しない、相手を敬い礼節を重んじ、生涯修行の「道」としての位置づけといえます。

Q、空手のPRポイントは？

男女とか体型力量に関係なく、服装も運動着でコートのような決まった広さでも必要なく、技法も無理な負担をかけることなく教習でき、バランスの良い身体の発達を促します。

さらに「空手に先手なし」「礼に始まり礼に終わる」という特有の精神も大きな特徴です。

Q、県内は、何校が採用？全国的には？

現時点では、公表されていないのでわかりません。新学期が始まった時点で発表になるのではないかと思います。

ただ、全国中学校の空手道外部指導者は317名。うち九州地区が308名と圧倒的に多く沖縄・九州の採用率は高いと思われます。

Q、空手道授業への課題？

学校内に指導者がいるという状況ではないので、どうしても外部に委託しなければなりません。要請された場合、学校へいつでも行ける状況をつくる事も求められます。また、指導者には、技を教えるだけではなく、武道精神や正しい生き方などを子供たちに伝えられる人生経験と人間性が求められています。

Q、これからの取り組みは？

実際には、柔道、剣道がクラブ活動として定着している状況などを考えると、他の武道の採用は難しいのが現状です。しかし、すぐに空手が授業として受け入れられなくても、様々な機会をとらえて、空手の素晴らしさをPRしていく必要はあります。

ともあれ、この制度の導入によって、中学生の学習生活に活気がみなぎり、広く国際的な視野に立てる自己啓発

につながり、優しさも人格形成の一部であると気づいてくれるなら幸いです。

以上、飛鳥会長に答えて頂きました。

体育館でできる、用具がなくてもできる、みんなで空手道！

平成24年度から始まる中学校武道必修化に向けて、空手道授業のための、新しい空手道情報誌「あゆみ」が(財)全日本空手道連盟から発行されました。

空手道は、傷害の発生が少なく安全であること、武道場の施設がなくてもできること、男女共習でもできること、狭い場所でもでき、また体育授業の服装でもできる事などをアピール。実際に実施している中学校での授業の様子や指導の手引などを詳しく紹介しています。



平成23年度 公認段位・公認審判員 合格者

少年の部

初段

《春季》

宮川 晃 酒田南高校
渡部 瑞生 崇武館新庄
阿崎 賢史 崇武館新庄
堀井 雄太 崇武館新庄
松田 紳矢 崇武館新庄
廣木 駆 尾浦空手道
菅原 元気 尾浦空手道
常川 尊秀 尾浦空手道

《秋季》

阿部莉々子 崇武館新庄
荒木 翔太 崇武館新庄
元木 文 崇武館新庄
齋藤 沙希 崇武館新庄
笹原 渉平 崇武館新庄
阿部 薫子 崇武館新庄
叶内 史也 崇武館新庄
菅原 清か 崇武館本部
金沢 奈苗 崇武館本部
飯 野慎也 スポーツ少年団嵐
金子 裕哉 スポーツ少年団嵐
石川 菜央 酒田拳勇敢
三浦 岳 酒田拳勇敢
三木省之介 崇武館寒河江

高校・一般の部

初段

《春季》

金子 成美 南陽高校
船山 美稀 南陽高校
小林 未侑 天童高校

貳段

渡辺 太樹 安達道場
森山 凌 天童高校

参段

関東 里佳 天童高校

県公認審判員合格者

齊藤 力 崇武館新庄支部
遠田めぐみ 至道館

※地区審判員審査は東日本大震災のため延期となりました。

平成18年度より審判技術の向上を目的に県公認審判員ランク制を導入。講習会には、ランクアップを目指して県内各地から審判員が多数参加。お互いに切磋琢磨し、技術を磨きました。



昨年度、東北総体少年男子形優勝・山口国体出場の森山凌選手にインタビューしました。

県連事務局の紅一点
大場朗子がインタビュー！



●空手歴は？
7歳から始めて11年目です。

●その11年の中で記憶に残ることは？
形の練習はしんどかったけれども、組手の練習と試合は楽しかった。練習がきつくて、やめようと思ったことも。

●自分を奮い立たせてきた言葉や、目指す人は？
一意専心。目指すのは、長谷川幸光先生です。

●優秀な大会成績は始めたころからか？
始めたころはあまり良くなくて、成績が出るようになったのは中学1年ぐらいからです。

●大会で使った形は？
東北総体でニーパイポ、チャタンヤラクシーシャンクー、スーパージンペイ。国体ではニーパイポを。

●今後の空手手は？
生涯空手として続けられるようにしたいと思っています。

●どれも手数が多くて難しい形だが、得意とするのは？
チャタンヤラクシーシャンクー。自分にはやりやすいです。

●自身の空手歴から、東北総体少年男子形優勝、国体出場という成績をどう思うか
うれしく思います。でも、国体ではベスト8に入賞しなかった。

●練習量はどのくらい？
1日3時間程度。部活動が週6くらいで、その後に家で形の自主練習を30分くらい行いました。

●後を追いかけてくる後輩たちに一言
「一意専心」。自分も支えにした言葉です。

森山さんは、今年、天童高校を卒業して専門学校に入学。しばらくは学業専念。今度は、一般の部、県代表選手としての活躍を心待ちにしています。



<http://yamagataken-karatedo.jp/>

県連の最新情報をお伝えします。

山形県空手道連盟

検索

平成24年度 山形県空手道連盟 事業・行事計画



※日程、会場等は変更になる場合があります。要項やHPを事前に確認してください。

日 程	事 業・行 事	会 場
1 / 4 (水) ～ 6 (金)	第25回 桃太郎杯全国高校空手道錬成大会	岡山市・桃太郎アリーナ
1 / 20 (金) ～ 22 (日)	第25回 東北高等学校空手道選抜大会	岩手県営武道館
2 / 5 (日)	平成24年度 山形県空手道連盟 定例総会	山形県スポーツ会館
3 / 26 (月) ～ 28 (水)	第31回 全国高等学校空手道選抜大会	岡山県・桃太郎アリーナ
3 / 29 (木) ～ 31 (土)	第6回 はまなす杯全国中学校空手道選抜大会	北海道／北広島市総合体育館
4 / 21 (土)	第7回 東北学生選手権大会(個人)	仙台市武道館
4 / 22 (日)	山形県審判員協議会総会／講習会・審査会	山形市総合スポーツセンター
5 / 3 (木) ～ 4 (金)	第29回 火の国旗全国高校優勝大会	熊本市総合体育館
5 / 5 (土)	第48回 東日本学生選手権大会	日本武道館
5 / 6 (日)	第12回 全日本少年少女選手権大会 県予選会 第20回 全国中学生選手権大会 県予選会	山形市総合スポーツセンター (予定)
5 / 12 (土)	村山地区高校総体空手道競技 飽海地区高校総体空手道競技	東海大学山形高校 天真学園高校
5 / 13 (日)	第14回 東北中学生選手権大会	仙台市宮城野体育館
5 / 20 (日) 又は 27 (日)	第33回 山形市選手権大会	山形市総合スポーツセンター
5 / 27 (日)	第41回 県社会人選手権大会 県公認段位(初～三段)審査会	山形県武道館剣道場 山形県武道館剣道場
6 / 3 (日)	山形県高校総体空手道競技	山形市総合スポーツセンター
6 / 11 (木)	ジュニア指定選手強化①	天童市スポーツセンター
6 / 17 (日) 又は 24 (日)	東北大学体育大会空手道競技	秋田県立武道館
6 / 29 (金) ～ 7 / 1 (日)	第34回 東北高校選手権大会	秋田県立武道館
7 / 8 (日)	第29回 山形県ジュニア選手権大会	山形市総合スポーツセンター(未定)
7 / 15 (日)	第67回 国体・第39回東北総体山形県予選会	山形県総合運動公園サブアリーナ
7 / 22 (日)	東北総体 成年・高校選手練習会	山形県武道館
7 / 29 (日)	東北総体 成年・高校選手練習会	山形県武道館
7 / 29 (日) ～ 8 / 1 (水)	第39回 全国高校総体(インカレ)空手道競技	新潟市東総合センター
8 / 12 (日)	東北総体 成年・高校選手練習会	山形県武道館

日 程	事 業・行 事	会 場
8 / 24 (金) ～ 26 (日)	第20回 全国中学生選手権大会	広島市
8 / 25 (土) ～ 26 (日)	第12回 全日本少年少女選手権大会	東京武道館
8 / 18 (土) ～ 19 (日)	第39回 東北総体空手道協議会 (形・東北ブロック予選)	秋田県
9 / 2 (日)	国体 成年・高校選手強化練習会	山形県武道館
9 / 8 (土)	村山地区高校総体秋季大会(新人戦) 飽海地区高校総体秋季大会(新人戦)	天童高校体育館 天真学園高校
9 / 9 (日)	国体 成年・高校選手強化練習会	山形県武道館
9 / 16 (日)	第45回 山形県空手道選手権大会	(村山地区)
9 / 23 (金)	第9回 東北大学選手権大会・新人戦・団体戦	未定
10 / 6 (土) / 8 (月)	第67回 国民体育大会空手道競技会	岐阜県多治見市
10 / 7 (日)	第20回 山形県少年少女スポーツ交流大会	天童高校体育館
10 / 14 (日)	ジュニア強化&成年・高校選手強化練習会	未定
10 / 20 (土) / 22 (月)	日本スポーツマスターズ2012空手道競技会	高知県青少年体育館
11 / 4 (日)	第28回 山形県高校新人大会	山形県総合運動公園サテライトアリーナ
11 / 11 (金)	第20回 山形県ジュニア選抜空手道選手権大会 全中選抜県予選会	最上地区
12 / 2 (日)	県審判講習会・公認段位(初～三段)審査会	山形県総合運動公園剣道場
12 / 8 (土)	第40回 全日本選手権大会(団体戦)	東京武道館
12 / 9 (日)	第40回 全日本選手権大会(個人戦)	日本武道館
12 / 25 (火) ～ 27 (木)	第20回 河北杯全国高校選手権大会	仙台市宮城野体育館

平成25年

1 / 4 (金) ～ 6 (日)	第26回 桃太郎杯全国高校錬成大会	岡山県桃太郎アリーナ
1 / 25 (金) ～ 27 (日)	第26回 東北高校選抜大会	青森県武道館
2 / 3 (日)	平成25年度 山形県空手道連盟 定例総会	県スポーツ会館
2 / 24 (日)	第7回 樹氷杯ジュニア選手権大会	山形市総合スポーツセンター
3 / 16 (土)	平成24年度 地区公認段位(4～5)審査会 平成24年度 地区組手審判員・審査会	仙台市武道館剣道場
3 / 17 (日)	平成24年度 地区形審判員・審査会	仙台市武道館剣道場